

(西暦) 2021 年度 博士前期課程学位論文要旨

学位論文題名 (注: 学位論文題名が英語の場合は和訳をつけること)

短期集中リハビリテーションの対象となる高齢者選定のチェックリストの開発

学位の種類: 修士 (作業療法学)

東京都立大学大学院

人間健康科学研究科 博士前期課程 人間健康科学専攻 作業療法科学域

学修番号 20896709

氏 名: 山中 信

(指導教員名: 石橋 裕 准教授)

注: 1 ページあたり 1,000 字程度 (英語の場合 300 ワード程度) で、本様式 1~2 ページ (A4 版) 程度とする。

本研究は、短期集中リハビリテーションの対象となる高齢者選定のチェックリストの開発を目的に、短期間のリハビリテーションで生活機能や生活行為の改善が期待される高齢者の特徴を構成概念として抽出し、その内容的妥当性の検証を行うことであった。

本研究は、尺度開発の国際基準である **Consensus-based Standards for selection of health Measurement Instrument** (以下, **COSMIN**) に準拠し 2 段階に分けて実施した。

研究 1 では、質問紙の質問項目の作成を目的としてフォーカスグループインタビュー (Focus Group Interview, 以下, **FGI**) を実施した。対象者は介護予防事業の経験がある介護支援専門員および医療専門職種に設定した。対象となる医療専門職種は介護予防事業の実践経験があること、臨床経験は 8 年目以上であることとした。対象者の募集人数は、**COSMIN** の基準に基づき 7 名~10 名程度とした。高齢者の生活機能を評価する尺度として、老研式活動能力指標が使用されているため、生活機能の概念を参考に構成概念を検討した。その操作的定義は、①心身機能・ADL 領域「心身機能や ADL に関する結果期待」②探索的領域「新しい生活様式を探索すること」③社会交流領域「生活における社会的交流」④判断領域:「自分自身や生活について判断すること」とした。**FGI** の結果、作業療法士 6 名、介護支援専門員 2 名の参加があった。**FGI** で得られたデータより 4 カテゴリー 31 項目を作成し、質問項目を考案した。研究 2 では、研究 1 で作成した質問項目の内容的妥当性を検証することを目的に、**Delphi** 法に基づくアンケート調査を行った。アンケート調査は事前に設定した同意の基準を満たすまで項目の追加・修正を繰り返し、検討項目がなくなるまで実施した。同意の基準は、5 段階の **Likert Scale** で①中央値 (**MED**) が 4.0 以上であること、②四分位範囲 (**IQR**) が 1.0 以下であること、③4 もしくは 5 と回答した単純集計が全体の 80%以上であることの 3 つを全て満たすこととした。その結果、3 次調査まで実施し、各項目の追加、修正、削除を経て、4 領域 21 項目の内容的妥当性が確認された。

本質問紙は、尺度開発の国際基準である **COSMIN** で推奨されている開発要件を高い基準を満たしており、内容的妥当性を高められたと考えられる。また、質問紙の各項目は短期集中予防サービスと関連性のある項目となっており、短期間のリハビリテーションで生活機能や生活行為の改善が期待される高齢者の抽出が効果的に行える質問紙となったと考えられる。今後は、今回開発した質問紙をもとに構成概念妥当性や信頼性など、その他の尺度特性について検証を行う必要がある。